

[2] 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)		(単位：千円)		
科 目	22年度予算	21年度予算	増 減	
学生生徒等納付金	4,693,729	4,772,378	△ 78,649	
手数料	60,590	61,671	△ 1,081	
寄付金	94,150	95,613	△ 1,463	
補助金	926,927	918,164	8,763	
資産運用収入	35,164	34,236	928	
事業収入	113,672	58,427	55,245	
雑収入	138,353	122,492	15,861	
帰属収入合計	6,062,585	6,062,981	△ 396	
基本金組入額合計	△ 458,652	△ 215,307	△ 243,345	
消費収入の部合計	5,603,933	5,847,674	△ 243,741	

帰属収入については、学生生徒等納付金、手数料および寄付金は減額計上となりましたが、補助金、事業収入および退職金財団からの交付金である雑収入は増額となりました。その結果帰属収入は前年度とほぼ同額の60億6,258万円となっております。

第1号基本金は、過年度の未組入額のうち、借入金返済に伴い組入れが必要となる額3億3,139万円のほか新たな施設設備関係支出に伴い2億9,023万円の組入れを行い、設備の除却額1億6,297万円を控除した額を組入れました。

(消費支出の部)				
科 目	22年度予算	21年度予算	増 減	
人件費	3,982,046	4,060,199	△ 78,153	
(教・職員人件費、役員報酬)	3,815,380	3,827,269	△ 11,889	
(退職給与引当金繰入額)	63,260	122,306	△ 59,046	
(消費収支退職金支出)	103,406	110,624	△ 7,218	
教育研究経費	925,841	894,078	31,763	
管理経費	276,496	314,846	△ 38,350	
減価償却額	638,758	625,853	12,905	
借入金等利息	35,889	43,349	△ 7,460	
[予備費]	100,000	50,000	50,000	
消費支出の部合計	5,959,030	5,988,325	△ 29,295	

人件費比率(人件費/帰属収入)は、人事計画に基づく採用、退職、昇給を行った結果、67.0%から65.7%に1.3%改善しました。

21年度までに取得した校舎、機器備品等及び21年度のリース取引に関する会計処理変更(企業会計同様リース取引を賃貸者処理から売買処理へ変更)に伴い21、22年度に契約したリース資産の減価償却額を計上しました。なお、リース資産のこの減価償却相当額は第1号基本金についても組入れを行っています。

消費支出は、予備費を5,000万円増額しましたが、合計額が前年度に対して2,929万円減額となっております。

帰属収支差額(注1)	103,555	74,656	28,899
帰属収支差額比率(注2)	1.7%	1.2%	0.5%
人件費比率(注3)	65.7%	67.0%	-1.3%
当年度消費収支差額	△ 355,097	△ 140,651	
前年度繰越消費支出超過額	△ 7,847,994	△ 7,848,215	
基本金取崩額	0	140,873	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,203,091	△ 7,847,993	

上記の結果、帰属収支差額は1億355万円となり、帰属収支差額比率は1.7%と僅かながら収入超過となりました。

当年度消費収支差額は、3億5,509万円の支出超過となり、前年度に比べ2億1,444万円悪化しましたが、これは前年度に比べて設備の除却が、大幅に減少したことによります。

(注1) 帰属収支差額＝帰属収入－消費支出

(注2) 帰属収支差額比率＝帰属収支差額÷帰属収入×100

(注3) 人件費比率＝人件費÷帰属収入×100